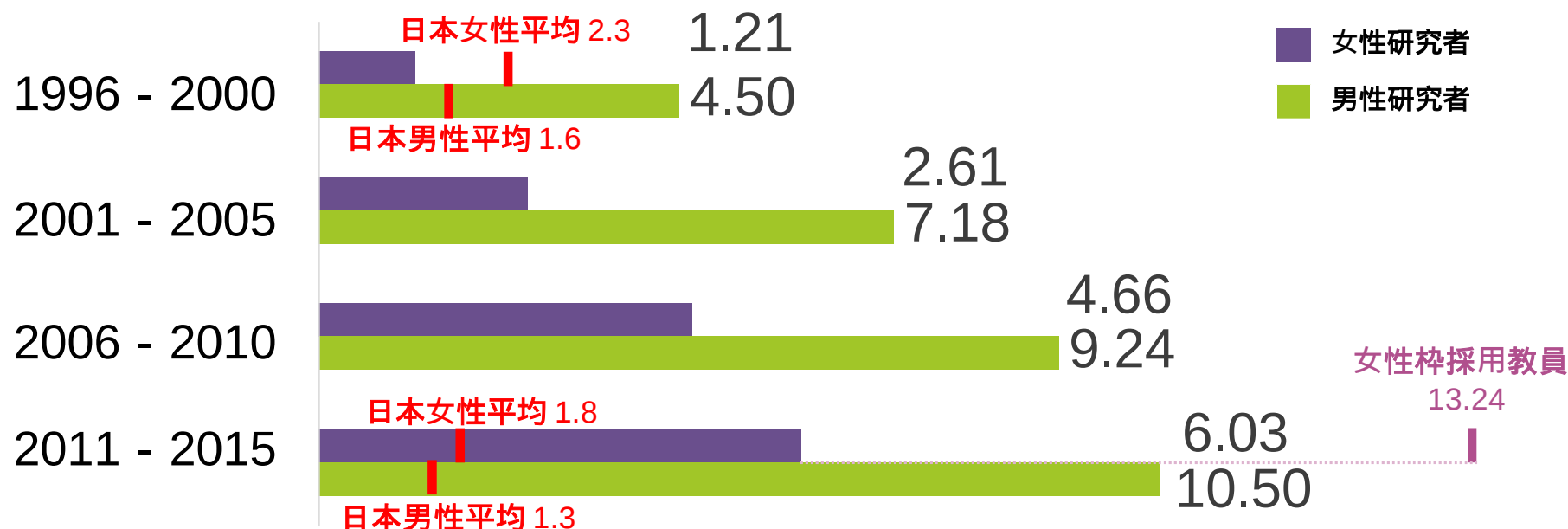




1人あたりの論文数



男女共に、1人あたりの論文数は時間の経過と共に増加しているが、女性の方が、論文数の増加率が高い。

(1996年～2000年から2011年～2015年の増加率: 男性約2.3倍、女性約5.0倍)

2011年～2015年は、男女ともに日本全体の値よりかなり多い。

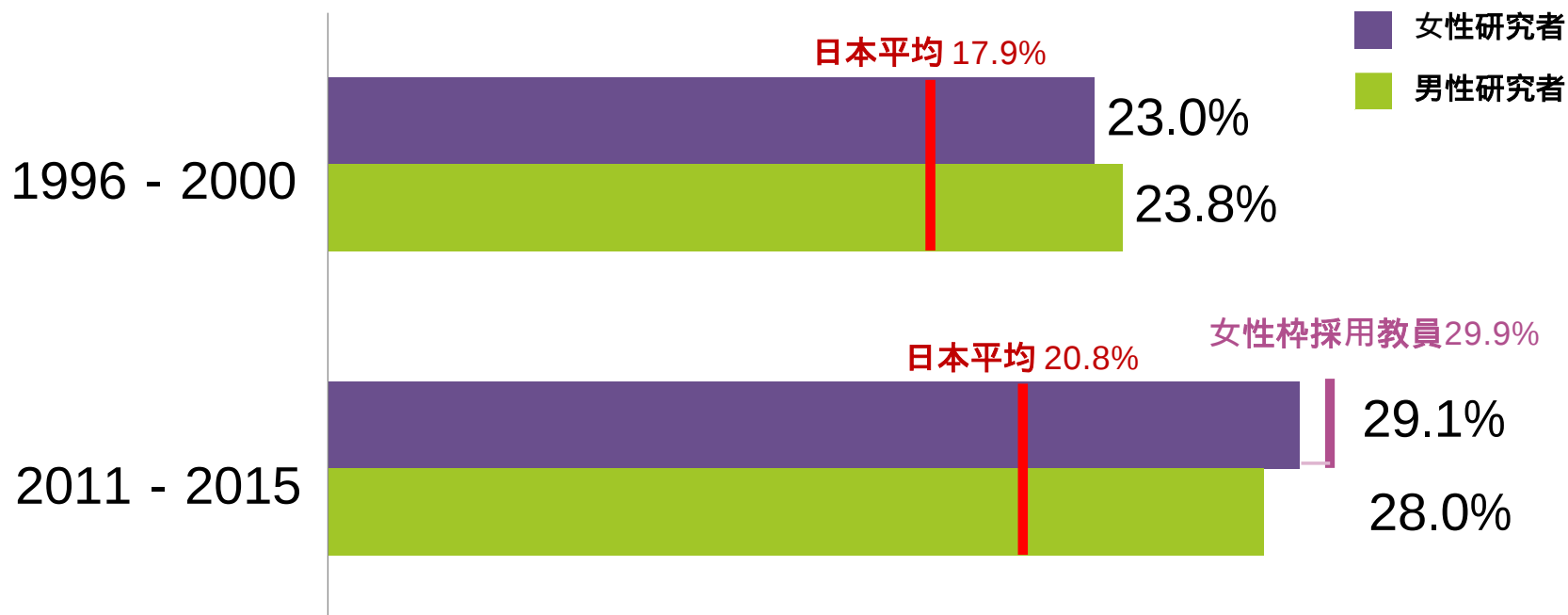


データが示す「九州大学で活躍する女性研究者」

Top10% ジャーナル論文の割合

CiteScore* が高い上位10%のジャーナルに掲載された論文の割合

* エルゼビアが提唱するジャーナルなどの引用インパクトを測定する指標

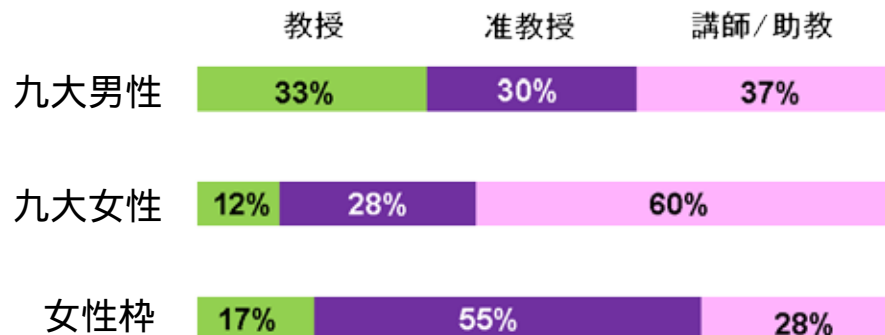


男女共に、Top10%ジャーナル論文の割合は時間の経過と共に増加している。
2011年～2015年は、女性の方が割合が高い。



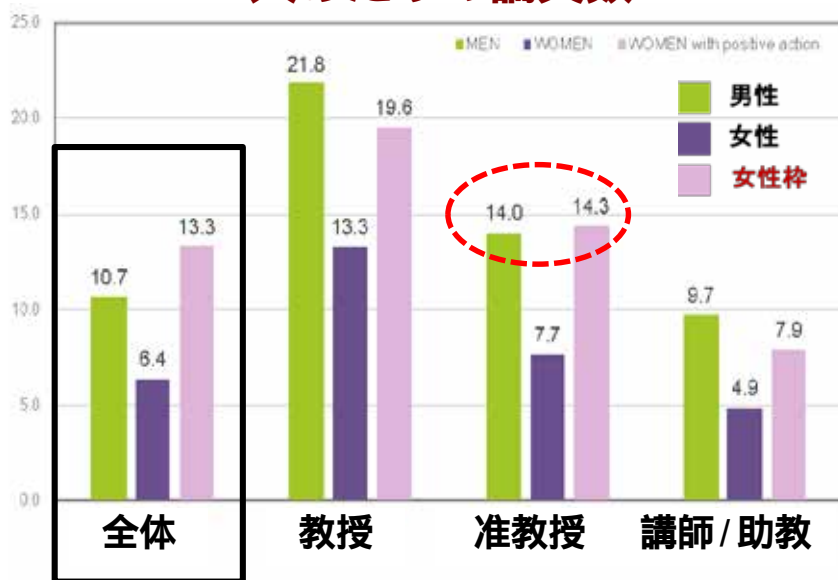
データが示す「九州大学で活躍する女性研究者」

男女別・職位別論文業績分析

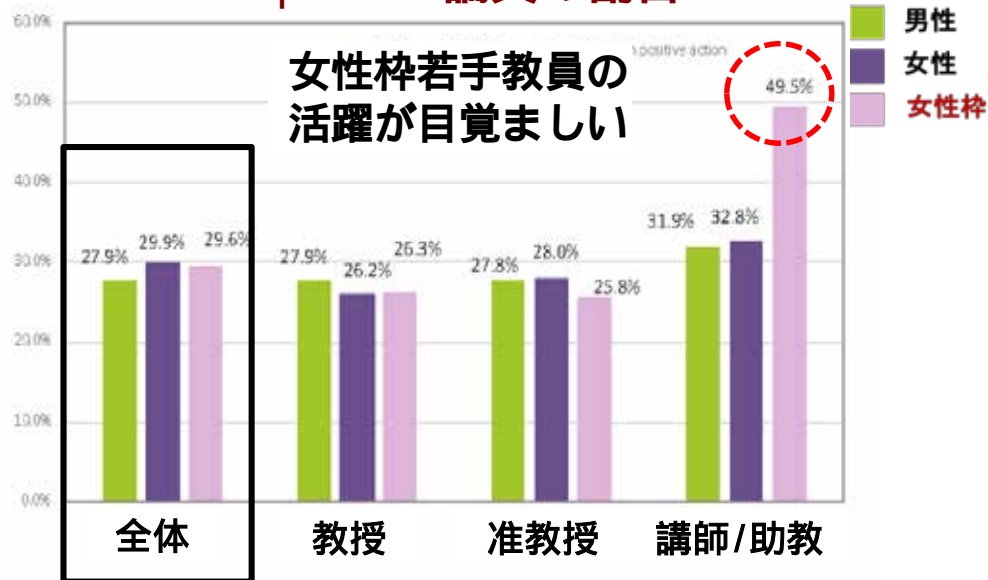


**女性研究者は量より
「質」に強い**

一人あたりの論文数



Top10% 論文の割合



出典: WSSF2018(2018年9月)

ポリモルフィア Vol.4, P44-45 (2019年3月) ISSN 2424-1114

エルゼビア社製研究分析ツール「SciVal」を使用

九州大学 男女共同参画推進室
<分析:九州大学 IR室>